

4万人のデータから徹底分析！ “読書習慣”と“成績”は密接な関係があった！ 『「本の読み方」で学力は決まる』

青春出版社（東京都新宿区）は9月4日に新刊『最新脳科学でついに出た結論 「本の読み方」で学力は決まる』（川島隆太：監修、松崎泰・榎浩平：著）を発売します。本書では小中学生4万人の脳解析データをもとに、読書習慣が子どもの脳の発達にどれほど関連しているのか、徹底検証します。監修は任天堂DS「脳トレ」シリーズの監修でも有名な、東北大学教授川島隆太先生です。

本書の内容

「本を読む子は頭がいい」は本当なのかを、仙台市教育委員会、山形県長井市、東北大学による“小中学生4万人”の脳解析データさまざまなデータから検証。読書習慣と成績の密接な関係、読み聞かせが親子双方に与える影響などを科学的なデータに基づいて、わかりやすく解説しています！

- ◎「本を読む子は頭がいい」を科学的に検証する
- ◎読書習慣がない子は、どんなに勉強しても平均以下の成績に！
- ◎長時間の読書は成績が落ちる…1日の読書量、最適な時間
- ◎本のジャンルで脳の活性化する場所が変わる
- ◎「読み聞かせ」で子育てが楽になる理由
- ◎ポジティブ思考を培う読書とは
- ◎紙の本と電子書籍、どっちが脳にいい？



『最新脳科学でついに出た結論
「本の読み方」で学力は決まる』
川島隆太：監修
松崎泰・榎浩平：著
ISBN 978-4-413-04551-3
新書判 190 ページ
価格 880 円+税

監修者・著者

川島隆太（監修）

東北大学加齢医学研究所教授。医学博士。東北大学大学院医学研究科修了。ニンテンドーDS「脳トレ」シリーズ監修。日本における脳機能イメージング研究の第一人者として著書多数

松崎泰（著）

東北大学加齢医学研究所助教。東北大学大学院教育学部研究科修了。博士（教育学）

榎浩平（著）

東北大学大学院医学系研究博士課程、東北大学学際高等研究教育院博士研究教育院生、日本学術振興会特別研究員（DC2）

本書のお問い合わせ先：

青春出版社 プロモーション部 宮田敦文 miyata@seishun.co.jp

〒162-0056 東京都新宿区若松町 12-1 Tel 03-3202-1212 Fax 03-3203-5130